

（ 静 脈 洞 血 栓 症 に お け る 頭 部 ル ー チ ン MRI 撮 像 法 の 診 断 能 の 比 較 検 討 ） に 関 す る 研 究 の お 知 ら せ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2017年12月5日 ～ 2018年9月30日

〔研究課題〕 静脈洞血栓症における頭部ルーチン MRI 撮像法の診断能の比較検討

〔研究目的〕 本研究では頭部 MRI 撮像法において、静脈洞血栓症の診断にどの撮像法が最も有用か、またどの組み合わせが有用かを明らかにすることを目的にしています。

〔研究意義〕 頭部ルーチン MRI 検査のみで静脈洞血栓症を疑われれば早期診断につながるものと考えられますが、静脈洞血栓症の診断に頭部ルーチン MRI 検査所見がどの程度寄与するかは不明確です。そのため、撮像法の所見が診断に有用かを明らかにすることは意義があると思われま

〔対象・研究方法〕 ※2006年10月1日から2016年9月30日の間に頭部 MRI 検査が施行され、DSA、造影 CT、造影 MRI など で 確 定 診 断 が 得 ら れ た 静 脈 洞 血 栓 症 患 者 と、そ の 対 照 群 と し て DSA と 頭 部 MRI が 施 行 さ れ 静 脈 洞 に 異 常 が な い と 診 断 さ れ た 患 者 を 対 象 と し て い ま す。対 象 と な る 方 の カ ル テ 情 報 か ら、患 者 背 景、MRI の 画 像 お よ び 検 査 結 果 を 利 用 さ せ て 頂 き、非 造 影 頭 部 MRI 検 査 の 有 用 性 を 検 討 し ま す。

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター他（宮崎大学医学部〔病態解析医学講座放射線医学分野教授平井俊範〕を主たる施設とし、全国約40施設参加予定の多施設共同研究として実施）

〔個人情報の取り扱い〕 研究に当たっては、対象となる方の個人を同定できる情報は一切使用しません。（匿名化されたデータは近土写真製版(株)メディカル部門に送られそこで整理されたデータが、宮崎大学に移送され分析されます）

〔研究資金〕 バイエル薬品から受けている資金は、利益相反委員会の審査を受け管理されています。

〔その他〕 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。当院で実施されている通常の頭部ルーチン MRI 検査により、上記期間中（※）に得られた検査結果を本研究のために使用させていただきます。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ

研究責任者：放射線科 病院教授 林 敏彦

帝京大学ちば総合医療センター

住所：〒299-0111千葉県市原市姉崎3426-3 TEL 0436-62-1211 FAX 0436-61-6765

※ご連絡の際には、お名前 / 帝京大学ちば総合医療センターの診察券番号 / 拒否する研究タイトルをお知らせください。